

所沢市民文学講座（全6回）

「藤沢周平を愉しむ」～「故郷」から「ユーモア」まで～

藤沢周平を味わいたい、愉しみたい。本講座では、藤沢周平ならではの6つのテーマから、藤沢周平世界に迫ります。

まず藤沢周平の山形時代にかかわる「故郷」からはじめて、「旅」「人と会う」「食べて飲む」、そして、「逆境」、「ユーモア」まで。一つのテーマごとに、小説、エッセイ、対談などから選んだ4～8作品をあつかいます。

●日程と各回のテーマ及び参考作品

- 第1回：令和元年9月9日（月） 「故郷」を思う愉しみ——「日本海の落日」ほか
- 第2回：同10月7日（月） 「旅」する愉しみ——『一茶』ほか
- 第3回：同11月15日（金） 「人と会う」愉しみ——「遠方より来る」ほか
- 第4回：同12月13日（金） 「食べて飲む」愉しみ——『三屋清左衛門残日録』ほか
- 第5回：令和2年1月17日（金） 「逆境」に負けぬ愉しみ——「転機の作物」ほか
- 第6回：同2月14日（金） 「ユーモア」を愉しむ——『たそがれ清兵衛』ほか

参考作品を列挙してありますが、必ずしも事前に読んでおこななくても結構です。作品を未読の方でもお楽しみいただけますので奮ってご参加下さい。

- 時間： 毎回午後2時から4時まで（受付：午後1時30分より）
- 会場： 所沢まちづくりセンター中央公民館 学習室8・9号
（所沢市元町27番地5号 TEL：04-2926-9355）
- 講師： 高橋 敏夫先生



文芸評論家、早稲田大学文学部教授。学生時代から類まれな文芸評論で注目され、その後も社会事象や映画、マンガ、音楽、演劇など多様なジャンルを横断し、鋭い現代評論を展開する。カルチャーセンター、公民館などでの講演も年間50回近い。

著書多数。時代小説関係では、『藤沢周平 負を生きる物語』、『藤沢周平と山本周五郎—時代小説大論議（佐高信との対談）』等があり、2018年1月には『松本清張「隠蔽と暴露」の作家』（集英社新書）、2019年3月には『抗う 時代小説と今ここにある「戦争」』（駒草出版）を出している。

- 参加費： 3,000円（6回分）第1回目に集めさせていただきます。
- 定員： 60名（申込み多数の場合は抽選）
- 申込み方法： 往復はがき（1人1枚）に、氏名、性別、住所、電話番号を記入のうえ、
7月31日まで 下記宛にお申込み下さい。（原則6回とも参加可能な方）
〒359-1162 所沢市和ヶ原2-200-24 佐藤 八郎
- お問い合わせ： 佐藤 八郎（サークル「漆の実」代表）TEL：04-2948-8247
- 主催： サークル「漆の実」（昭和の小説及び作家を通じて文学に親しむサークル）

藤沢周平（1927年12月～1997年1月）

山形県鶴岡市出身、山形師範学校卒業

1973年『暗殺の年輪』で第69回直木賞を受賞

1986年『白き瓶』で吉川英治文学賞を受賞

主な作品：『用心棒日月抄』『海鳴り』『風の果て』『蝉しぐれ』

『三屋清左衛門残日録』『たそがれ清兵衛』など多数

山形県鶴岡市に藤沢周平記念館がある

